



ら び っ く La·BOOK

4月号

No.10

25年度 図書館が大切にすること

- 1 市図書館資料収集計画による、充実した図書資料の収集と情報発信を進めます。
- 2 図書資料への理解を深めるために、読み聞かせ等の読書活動推進のための実践講座、講演会、講座、おはなし会を行います。
- 3 障がいのある方へのサービスの充実を図ります。(郷土資料のデジタイ化(※))
- 4 インターネットで図書館資料を予約できるよう、システム及び規則等の整備をし、市民の図書館利用を促進します。
- 5 市内幼保小中高との連携を図り、子どもの読書に関わる活動、学習支援を行います。
- 6 図書館フェスタをはじめとする全館統一事業の充実を図ります。
- 7 三郷図書館、堀金図書館建設に向けた準備を進めます。

(※) 主に視覚障害者が利用できるデジタル録音図書を作成すること



中央図書館の企画展示 (4~5月)

本を彩る!! ~装丁・挿画のいろいろ~

本好きなら、様々にデザインされた表紙や帯、ブックカバーは、更にもその本の魅力を引き立て、手に取りたくなるものです。そんな本の外観(装丁)をお楽しみください。本のソムリエのコメント付きです。



■装丁に関する本

『装丁』／南 伸坊

『装丁・装画の流儀』／日本図書設計家協会

■自装本(作家自ら表紙などのデザインを手かけた本)

『ノルウェイの森』／村上春樹

『巴里ひとりある記』／高峰秀子

■人気装丁家 鈴木成一、祖父江慎、松沼教

『金持ち父さん 貧乏父さん』／ロバート・キヨサキ

『ユーゲニア』／恩田 陸

『いまはむかし』／安澄加奈

■造本・装丁コンクール受賞作品

『悪い本』／宮部みゆき

『ラン』／森 絵都

■おもしろ装丁本

『カエサル』／エイドリアン・ゴールズワーシー

『謎解きはディナーのあとで』／東川篤哉

■信濃毎日新聞記事「いま、装丁のこと」

『マドンナ・ヴェルデ』／海堂 尊

『乳と卵』／川上未英子

など多数あります。



三郷図書館

奮闘!?調べもの日記(レファレンス)

拾ヶ堰、常念岳に向かって流れる?

安曇野を代表するビューポイントの一つが、拾ヶ堰“じてんしゃひろば”から眺める常念岳です。三郷中萱にあり、北側の豊科との境界付近にあります。



橋の上から拾ヶ堰の流れを見ると、北アルプス常念岳に向かって流れています。川は、山から平地に向かって流れるはずなのに、不思議な光景です。

「それは、なぜ?」といっても、自然の法則に反しているわけではありません。拾ヶ堰は、総延長15kmあるのに、高低差は5mほどしかありません。水は、その緩やかな傾斜に沿って流れているだけです。地図で見ると扇状地形のほぼ標高570mの等高線に沿って、豊科下鳥羽から三郷下中萱を通過して堀金中堀集落へと、北西のアルプスに向かうかのように流れます。その後、堀金小学校付近の大曲りを経て北へと流れていきます。あたかも水が、低所から高所へ流れているかのような錯覚を覚えます。

一度この場所に立って拾ヶ堰の流れをご覧になってみてはいかがでしょうか!

【関係資料】

『安曇野の拾ヶ堰ガイドブック』

／長野県拾ヶ堰土地改良区 拾ヶ堰応援隊

『わたしたちの安曇野』／安曇野市教育会

『安曇野と拾ヶ堰』／北野 進著

『ふるさと安曇野～安曇野市発足記念写真集～』／郷土出版社

3月貸出ランキング

一般書

- 1 母性／湊かなえ
- 2 虚像の道化師／東野圭吾
- 〃 夜明けの街で／東野圭吾
- 〃 プラチナデータ／東野圭吾
- 3 恋しのぶ／鳥羽亮
- 〃 等伯 上／安部龍太郎
- 〃 神様のカルテ2／夏川草介
- 〃 55歳からのハローライフ／村上龍
- 9 あたしんち 3／けらえいこ
- 〃 謎解きはディナーのあとで 3／東川篤哉
- 〃 残り全部パッケージ／伊坂幸太郎
- 〃 人質／佐々木譲
- 〃 64／横山秀夫

児童書

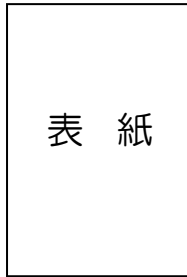
- 1 バムとケロのシリーズ／島田ゆか
- 2 かいけつゾロリシリーズ／原ゆたか
- 3 14ひきのせんたく／いわむらかずお
- 〃 ノンタンあわぶくぶくぶいぶいぶ／キヨノサチコ
- 4 しずくちゃん 5／ぎぼりつこ
- 〃 10ひきのかえるはじめてのキャンプ／間所ひさこ

AV資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 〃 とんりのトトロ／宮崎駿監督
- 〃 トムとジェリーの大冒険／フィル・ローマン監督
- 〃 トムとジェリー 魔法の指輪／ジェームス・T・ウォーカー監督

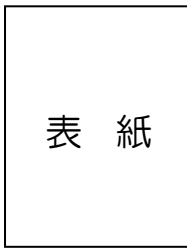
本のソムリエ（職員）のおすすめ本

一般書 『タイタニック 百年目の真実』



チャールズ・ペレグリーノ／原書房
豪華客船タイタニック号の事故から100年。著者自身による深海探査で得られた事実、生存者を訪ね歩いて聞き書きした衝突の前後の様子が書かれています。死こそ免れたものの人種差別・偏見などによって不当な扱いを受けた人々にも焦点が当てられ、ただ一人日本人生存者の細野正文氏の過酷な生涯についても一章が割かれています。事故とその後のドラマチックな真実は読み応え十分です。
(中央図書館一般書担当)

児童書 『大きい1年生と小さな2年生』



古田足日／偕成社
からだは大きいけれど泣き虫の、1年生のまさや。からだは小さいのにしっかりしている、2年生のあきよ。いつもあきよに助けられてばかりのまさやだったが、あきよの姿を見てだんだんかわっていきます。そしてある日、一大決心をしてあきよのために、遠く離れた一本杉までホテルブクロの花をとりに行きます。
ふたりの友情と成長を描く、スタートの春におすすめの物語です。
(中央図書館児童書担当)

私と図書館

よい図書館とは、市民が一緒になって創り上げていくものと思う。そのためにも、もっと市民参加型のスペースがあつていいのではないか。「本のおすすめ」コーナーや、創作俳句の発表スペースなど・・・本から生まれる交流も、サークル以外にあつていいと思う。

図書館の良し悪しは「施設」と「本」と「人」だと言われる。施設は兎も角、本と人は、単に運営サイドを指すとは思えない。利用させてもらう私たちのリクエストや利用傾向が蔵書の一部を構成しているであろうし、利用者がモラルを欠けば、とても利用しやすい図書館にはならないだろう。

引越して大量の本を断捨離した私は、専ら図書館が生活サイクルの大切な拠点となった。本を借りるのが主な利用だが、調べ物で行き詰まって、カウンターに行き相談すると熱心に探し回ってくれる。

本と人をつなぐ場所に
(六十代 女性)
安曇野市に来て二年。豊かな自然と歴史に育まれたこの地がますます好きになった。この市にはパトカーが無いのかと思える程平穏で、小鳥のさえずりを聴きながら本を読める至福を味わっている。



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-5796 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

※編集後記※

今年は、全国各地で桜の開花が、例年になく早い。市図書館の周りでも、ちひろと咲き始めた。この時期は、桜が光城山に登る様子を眺めながら図書館へ向かえることがうれしい。
市図書館では、多くの新しい人との出会いがあり、新年度を気持ちよくスタートすることができました。

